

# 干潟観察会の記録

参加者：わくドキ学童クラブ

実施日：令和3年7月28日（水）

天気：はれ

講師：藤井 晴彦 先生

今日も晴天で干潟日和です。干潟に入る前に海につながる川を見てみると、外来魚のティラピアが泳いでいました。水分をこまめにとって熱中症ねつちゆうしやうに気をつけながら、みんなで泡瀬干潟のたくさんの生き物を観察しました。

干潟の陸地に近い部分と沖側では、同じ環境のように見えて、生息している生き物に違いがあります。陸地に近い手前側は、潮が引いてから時間が経っているので、地面の温度が上がっています。そのため、暑さに強い生き物が多いです。今回はリュウキュウコメツキガニを見つけた子が多かったようです。そして、沖に進むにつれて、オウギガニの仲間や、タイワンガザミ、ミナミトビハゼ、イソアワモチなど、いろんな生き物を見つけることができました。どんどん進むと、最後にはミナミコメツキガニの小さな軍隊ぐんたいにも出会え、みんなで食事しているところを観察したり、手に乗せたりして楽しみました！



川にティラピアがいる！



海綿は英語で「スポンジ」。  
ほんとにスポンジみたい！



カニのオスメスは腹部で見分けられる



タイワンガザミうまく持てるかな？



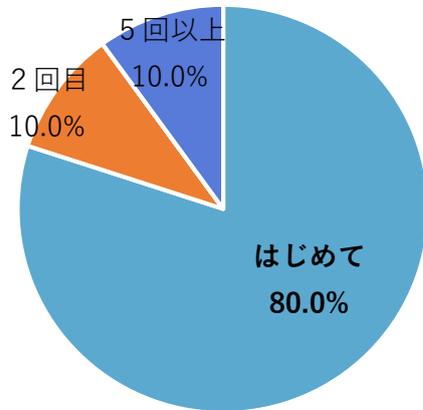
コメツキーを見つけた！



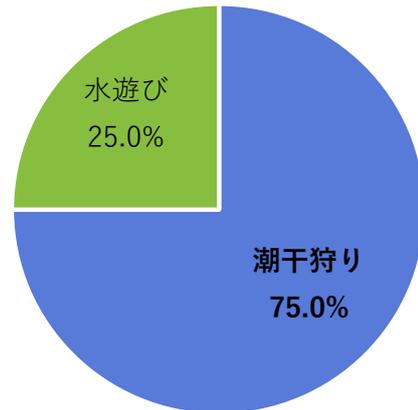
# アンケート結果

参加してくれたわくドキ学童クラブのみなさんにアンケートに回答してもらいました。

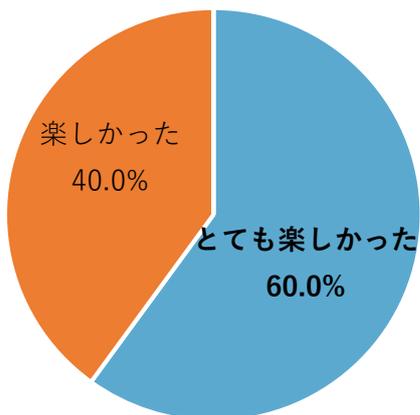
Q1. 今まで、泡瀬干潟に行ったことはありますか？



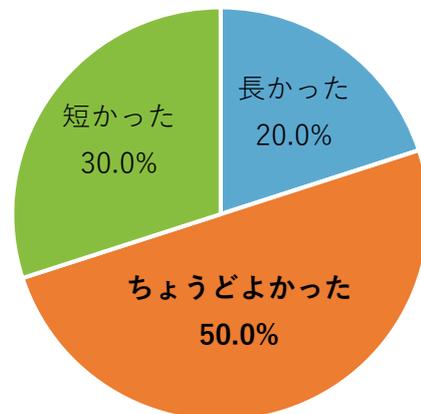
Q2. 今まで泡瀬干潟に行ったことがある人は、干潟に何をしに行きましたか？（複数回答）



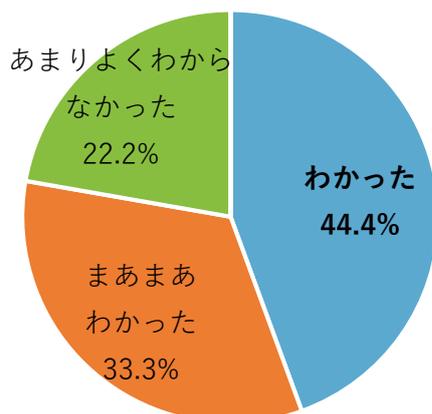
Q3. 観察会は楽しかったですか？



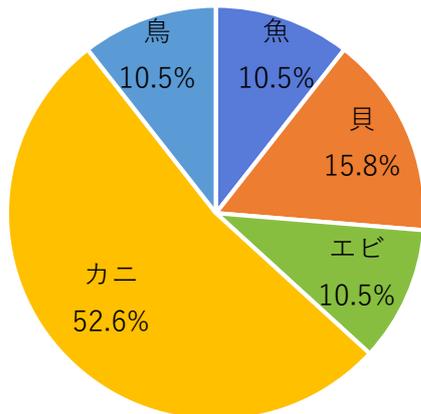
Q4. 観察会の長さは長かったですか？短かったですか？



Q5. 干潟の役割や干潟にいる生き物についてわかりましたか？



Q6. どのような生き物が印象に残りましたか？（複数回答）



Q7. 川や海をきれいにするため、気を付けていることはありますか？  
また、そのためにどのような取り組みが必要だと思いますか？

- プラスチックごみをなくす。
- ポイ捨てをしている人を注意する。ゴミをひろう。
- ゴミを川や海にすてない。
- ポイ捨てはしないようにするということを気をつけています。でもゴミやポイ捨てをしている人を見かけたら注意するようにしたいです。

Q8. ふしぎに思ったことや、感想を教えてください。

- 海がわかれている。  
干潟の観察会は、潮が引いている（海の水が少なく見える）ときに行きます。干潮から6時間後には満潮になり、砂浜のすぐ近くまで水が上がってきて、魚も戻ってきます。とってもふしぎですね。
- 海がすくない。
- たのしかったです！いろいろなせいぶつがいたのを知れてよかったとおもいました。
- 私は泡瀬干潟にはじめて行って知らない生物がいて、きけんな生物のことについても知ったので、もし家族やおばあちゃん、おじいちゃんといくときはいろいろなルールを守って遊びたいです。
- 生き物をさがすのがたのしかった。
- カニにパンツがあったので、ふしぎに思った。  
「カニのパンツ」は実はお腹にあたる部分です。メスはお腹にたくさんの卵を抱えていることがあります。見つけても、つついたり追いかけたりせず、そっと見守ってあげてくださいね。
- カニはあんなに早く地面にもぐれるのがふしぎです。
- カニはいろいろしゅるいがあっておもしろかった。
- なんで海はこんなにきれいなのかふしぎに思いました。
- ヤドカリは、なぜ貝の中に入っているのだろうか。

クニのせいぶつ  
巻貝の絵が上手！ヤドカリは、天敵から身を守るために巻貝の中に入っています。海のヤドカリの仲間には、タコや魚に食べられてしまわないように、イソギンチャクをくっつけている種類もあります。また、陸上で生活しているヤドカリの仲間（オカヤドカリ類）は国の天然記念物になっています。陸で生活しているので、カタツムリのからやペットボトルのキャップに入ったオカヤドカリもあります。探してみてくださいね！